

## 1. 令和元年度台風19号の主な要因

○ 阿武隈川や千曲川の流域では、地域によっては48時間降水量が400mmを超え100年に1度を超える確率の降水量  
(防災科学研究所)

○ 河川の堤防が各地で決壊し、甚大な被害が発生

→ 堤防の決壊 : 国管理河川 12箇所  
                  : 県管理河川 128箇所  
                  (国土交通省資料)

河川名	被災状況	流域内での48時間降水量 (流域内最大降雨箇所)		(参考) 想定最大規模降雨 (流域平均)
阿武隈川	決壊	571.5mm	宮城県丸森町	316mm
千曲川	決壊	411.5mm	長野県北相木村	396mm
那珂川	決壊	341.5mm	茨城県常陸太田市	459mm
多摩川	越水	649mm	東京都檜原村	588mm

## 2. 今後の対応方針

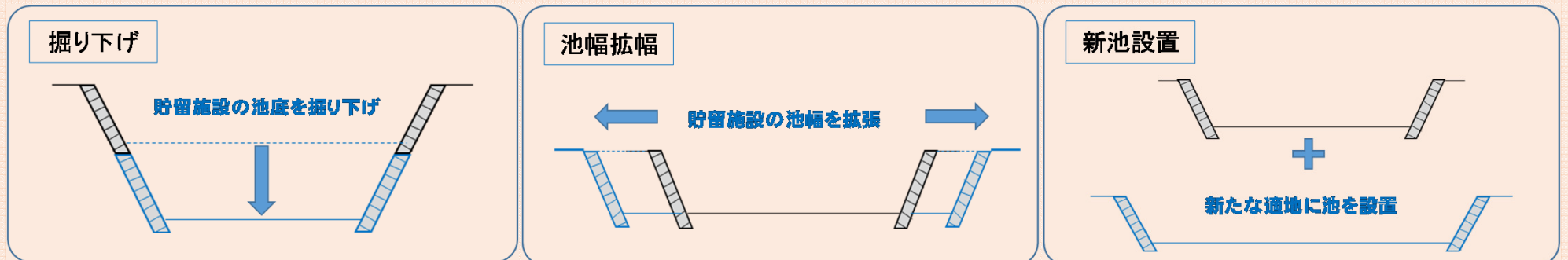
台風19号被害に鑑み、想定を超える豪雨(1/100※)にも対応するため、  
大和川総合治水対策のグレードアップの検討が必要

※ 概ね100年に1回程度の確率で発生する降雨

### 【ハード対策】

#### ①平成緊急内水対策のグレードアップ

- これまでに想定した計画規模(1/10)を超える豪雨(1/100)も念頭に、事業のスピード感は保ちつつ、各市町における意向を踏まえて追加対策を検討
- 具体的には、貯留施設の池底の掘り下げ、池幅の拡張、新たな池の追加設置等を検討



②流下阻害を防ぐための河道内の樹木伐採や堆積土砂の撤去 (国の3か年緊急対策の継続・拡充)

③雨水貯留管等の整備 (下水道(雨水)事業による手法も含む)

### 【ソフト対策】

#### ■迅速な避難を促す情報発信

##### ①河川状況の把握

→ 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置 (今年度20箇所設置、来年度約45箇所設置予定)

##### ②洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の公表

→ 水位周知河川23河川(今年度)、ダム下流の檜川、実盛川、布留川北流(来年度)

##### ③ハザードマップ(想定最大規模)の周知

→ 不動産関連事業者にはハザードマップを活用した水害リスクの情報提供を依頼(今年度)

#### ■体制づくり

##### ④防災関係機関の連携

→ 水害対応タイムラインの作成 (来年度中)

##### ⑤実践的な水防訓練の実施 (毎年度)

→ 特に要配慮者利用施設等における避難確保計画の作成(令和3年度まで)

# 祝 奈良県平成緊急内水対策事業 社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設整備工事 起工祝賀式

平素より田原本町行政に特別なご高配を賜り誠にありがとうございます。

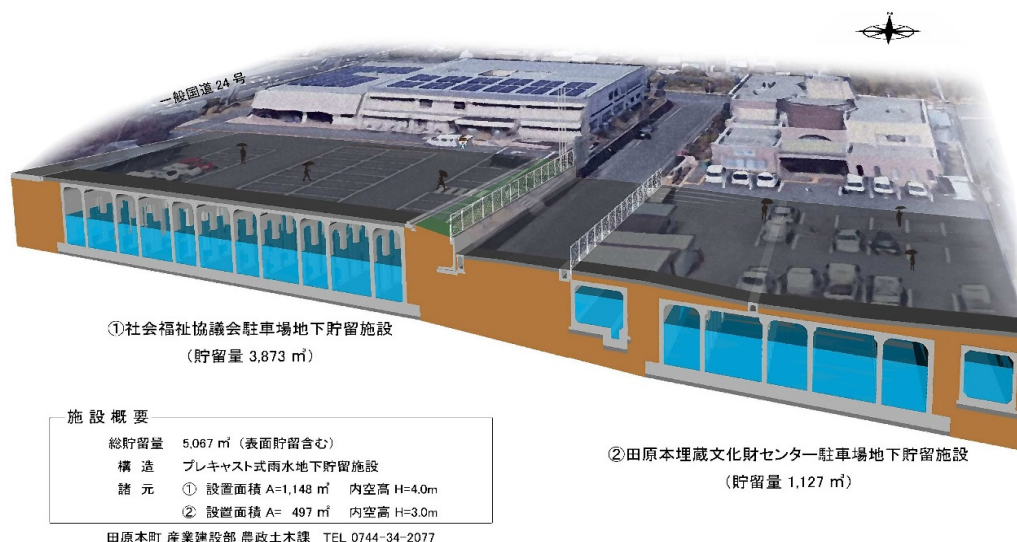
『奈良県平成緊急内水対策事業 社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設整備工事 起工祝賀式』におきまして、大変多くの皆様ご参集の下に起工祝賀式が開催されましたことを、心よりお喜びを申し上げます。

奈良県では平成29年10月の台風21号により大規模な内水被害が発生したことを踏まえ、平成30年5月に今後5年間で、内水氾濫による床上、床下浸水被害の解消に向けて、必要な貯留施設等を適地に整備していく奈良県平成緊急内水対策事業が立ち上げられました。事業にあたり適地選考委員会で適地候補地が選定され、田原本町社会福祉協議会駐車場及び田原本町埋蔵文化財センター駐車場において、奈良県下で田原本町が第一番目に貯留整備工事を着手する運びになりました。

本町は、奈良県と連携し、この起工祝賀式を通し、関係自治体並びに住民への事業の必要性の理解を促し、当該事業を力強く推進することにより、浸水被害で困っておられる方々が早期に安全で安心して生活できる環境の整備を推進したいと考えています。

## 記

1. 工事名 社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設整備工事
2. 契約金額 約3億8千5百万円（総事業費約5億5千万円）
3. 受注者 香芝市旭ヶ丘一丁目31番地の1  
上村・上香特定建設工事共同企業体
4. 工事内容 雨水貯留槽設置 V=5,000m<sup>3</sup>  
(社会福祉協議会駐車場地下に3,873m<sup>3</sup>,埋蔵文化財センター駐車場地下に1,127m<sup>3</sup>)
5. 完成時期 令和3年春頃完成予定
6. 完成予想図



# 今後の対応方針 【ソフト対策】

## ① 河川状況の把握

→ 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置  
(今年度20箇所設置、来年度約45箇所設置予定)

・洪水時の的確な避難を図るため、避難判断の目安となる水位状況や洪水状況を多くの地点で確認できるよう、低コストで洪水時に特化した水位計や機能を限定(ズーム・首振り不可等)した監視カメラを設置

・市町村でも先行的に独自に設置

田原本町 : 1河川 1箇所(水位計)  
黒滝村 : 2河川 2箇所(水位計+カメラ)  
          : 1砂防溪流 1箇所(水位計+カメラ)  
※黒滝村の水位計、カメラは通常型

### 【田原本町】





# 今後の対応方針 【ソフト対策】

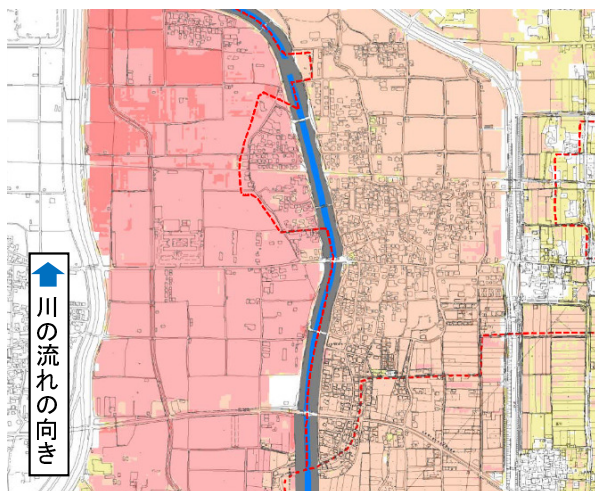
## ② 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の公表

→ 水位周知河川23河川(今年度中)

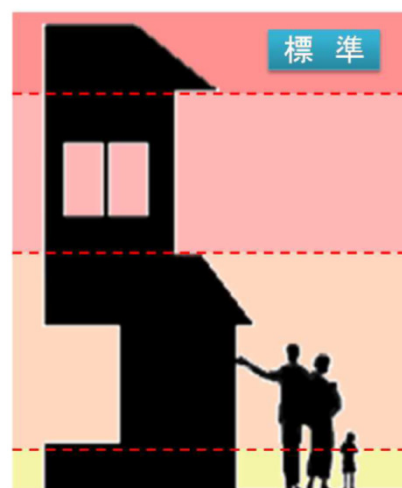
ダム下流の檜川、実盛川、布留川北流(来年度中)

- ・平成27年度の水防法の一部改正により、これまでの計画規模の浸水想定区域図に加え、**想定される最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域**の公表を義務化

### 洪水浸水想定区域



河川が、破堤又は溢水した場合に、その氾濫水により浸水することが想定される区域を示したもの



- 5.0m 一般的な家屋の2階が水没する水位
- 3.0m 2階床下に相当する水位
- 0.5m 1階床高に相当する水位